

イムノエース[®] ノロ 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489

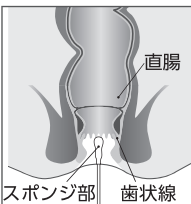
検体採取

排泄便



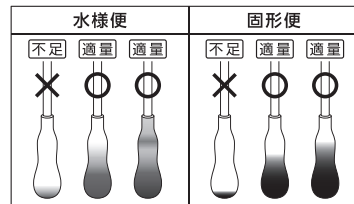
水様便の場合は少なくともスポンジ部の半分以上にしみ込ませて採取します。
固形便の場合はスポンジ部の半分程度を軽く覆うように採取します。

直腸便

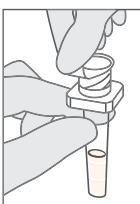


患者を傷つけないように十分に注意を払い、スワブを軽く回しながら患者肛門にスポンジ部全体が隠れる程度に挿入し、糞便を採取します。

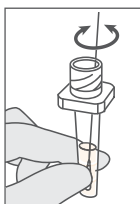
適切な検体量



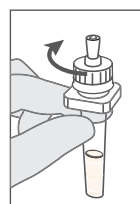
試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

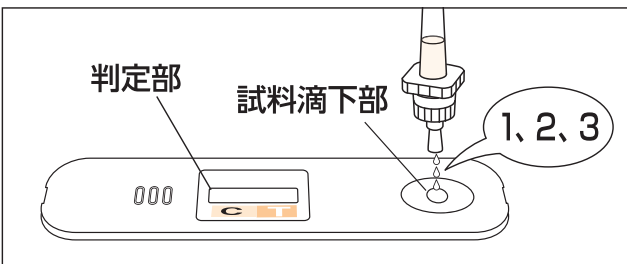


検体採取後のスワブを検体抽出液が入った容器に浸し、容器の外側からスポンジ部を揉みこいて十分に抽出してください。容器を押しつぶすようにして、スワブから溶液を搾り取るように引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

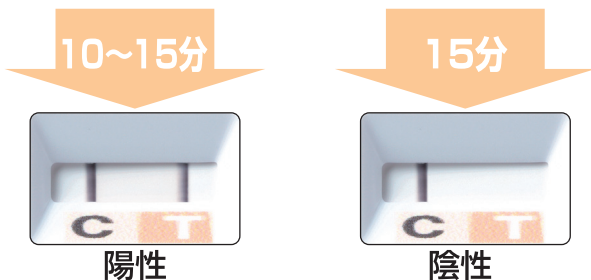
試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料**3滴**を滴下します。

注意
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

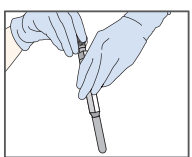
判定



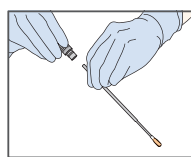
注意事項

- ① 滴下するとき検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び/又は[T]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。
- ③ ラインは各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ ラインの濃さにムラがあるものや途切れているものもラインとしては有効です。
- ⑤ 判定時間を過ぎたテストプレートは乾燥等により結果が変化する場合がありますので、判定には使用しないでください。
- ⑥ 検体採取量が多い場合、非特異反応などが生じることがあります。
- ⑦ 最終的な確定診断は、本品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断してください。

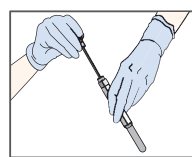
輸送用チューブの使用方法



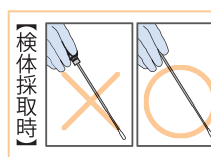
① 輸送用チューブからキャップを取り外す。



② キャップの穴に、検体採取済みのスワブの持ち手部分を装着する。



③ キャップを装着したスワブをチューブに収める。



注意：スワブを装着した輸送用チューブのキャップを持つての検体採取は、スワブが外れる恐れがあるため、行わないでください。